

<p>草の根活動 交流NEWS</p>	<p>第736号 2025年8月5日 会員数158万3382人 読者数 4783人</p>	<p>消費税をなくす全国の会 〒114-0023 東京都北区滝野川3-3-1-201 電話03-3940-0401 FAX03-3949-9885 Eメール snzk90@horae.dti.ne.jp</p>
-------------------------	---	---

参院でも自公が過半数割れ 消費税減税に向け「なくす会」の出番

参院選挙の結果を受けての各紙の世論調査では、政府・与党は消費税の減税案を、「受け入れるべきだ」が58%を占め、「受け入れる必要はない」の22%を大きく上回りました(毎日)。また、「今の税率を維持すべきだ」は23.0%にとどまる一方、「すべての消費税率を5%に下げるべき」が32.9%、「消費税は廃止すべき」は14.2%で、減税や廃止を求める回答が合わせて75.1%(産経・FNN)。出口調査(NHK)では投票の際に重視した政策は「外国人政策」はわずか7%にとどまり、最も重視したのは「物価高・経済」48%でした。参院選では参政党が議席を増やしましたが、投票には「私たちの暮らしを良くしてほしい」と願いが込められています。その願いを実現するため、「なくす会」の出番です。

消費税減税の意見書採択

大阪・吹田市

吹田市議会は7月2日、「物価高騰の緊急対策として消費税引き下げを求める意見書」を全会一致で採択しました。

意見書では物価高騰は一向に収まる様子がなく、実質賃金は3年連続のマイナスになる中で消費税は買い物をするれば必ず支払う必要があり、税率が一律であるため、低所得者ほど負担が大きくなる。事業者にとっては物価高騰によるコスト上昇分を商品価格に転嫁することができなくても課税され、赤字経営であっても原則、納税義務が生じるなどの問題を指摘。意見書は同日、内閣総理大臣、財務大臣、衆参両院議長に提出しました。

大阪の会と泉北の会は7月4日、合同で宣伝を行い、9人が参加。100枚のビラがあっという間になくなり、14人から署名が寄せられ、消費税減税を求める声の広がりを感じた宣伝行動でした。

猛暑の中、高校生が署名

郡山の会

参院選挙後間もない7月24日、福島・郡山の会はJR郡山駅前ですて例宣伝を行いました。猛暑対策として時



間短縮で行う予定でしたが、熱が入り時間をオーバーしての宣伝。参加者は9人、マイクで訴えたのは6人。

13人から署名が寄せられました。暑くて人通りも途絶えがちな午後でしたが、元気な高校生と対話。「あなたは楽しそうですが、お母さんは物価高でやりくりして苦労しているんですよ」と話すと「高校2年生だけど署名しても大丈夫ですか」と話し、署名に応じてくれました。

「年金だけで生活できない」

富山の会

富山県の会と消費税廃止富山県各界連絡会は7月24日、富山・総曲輪商店街で宣伝・署名を行いました。20日投開



票の参院選で石破自公政権にノーの審判を下したことを力に、国民の声で消費税減税・インボイス廃止の実現を迫

ろうと呼びかけました。富山県商工団体連合会の能沢事務局長は「私たち中小企業は赤字でも消費税を払わなければいけない。消費率を引き上げてほしい。廃止してほしいという声を署名に託してください」と呼びかけました。



なくす会の水谷敏彦代表世話人は「衆院に続いて参院でも自公過半数割れとなり、ノーの審判を突きつけた」と強調。「消費税は減税してほしい」「物価高に耐えられない」との声を署名に託し、いまの政治を変えようと訴えました。署名に応じた富山市内の女性(68)は「年金だけでは生活費が足りず、退職金を取り崩して生活している」と話していました。

消費税減税は切実な願い

和歌山の会

和歌山の会は7月24日、JR 和歌山駅前で定例宣伝。この日は「熱中症警戒アラート」が発令された酷暑の中、7人が参加しました。



参議院選挙で、与党が大敗して「消費税減税」が国民の声であり、伸びた野党も減税実現の責任があるとの訴えは、通行する人から共感が得られました。チラシ200枚を配布。受け取りは良く、夏休み中の学生にも積極的に話しかけてチラシを手渡しました。「消費税を下げてください!」と切実に訴える人もいて「減税への願いは切実」と実感した宣伝になりました。

3カ月連続で2ケタ署名

東京・板橋の会

消費税をなくす板橋の会と消費税廃止板橋連絡会は定例宣伝を繰り上げ7月16日に仲宿商店街で署名宣伝を行いました。この場所は江戸時代に日本橋と京都を結ぶ中山道の最初の宿場町だった「板橋宿」があった場所で、仲宿にはたくさんの商家が立ち並んでいたといわれ、今は青果店や肉店、飲食店など150店が軒をつらねています。

この日は「中宿の本陣」があったというスーパー「ライフ」前で夕方に宣伝。買い



物客でにぎわっていました。「7月は食品の値上がりで2100品目余。消費税の緊急減税は待たなし。財源は大企業や富裕層の優遇税制を是正し、応分の負担を求めれば確保できます」と訴え。「減税ではなく消費税は廃止すべき」と22人から署名が寄せられ、3カ月連続で2ケタ署名を集めました。

パンフを普及して宣伝

兵庫の会

兵庫・北区の会は7月1日、鈴蘭台駅前で宣伝し、8人が参加。30人から署名が寄せられ、2024パンフを25冊普及しました。バス停で3人の女子大生と対話になり、パンフを勧めると3人とも「勉強させてもらおう」と気軽に受け取ってくれました。70代の女性は「物価高騰で国民が困っているときに政治家はしっかり取り組んでほしい」と話し、署名をしました。

兵庫・長田区の会は7月26日、炎天下の中、長田神社前で3団体合同の宣伝を行い、12人が参加しました。60代の女性と対話し、「参院選で野党が消費税減税・廃止を公約に掲げ、自公を過半数割れに追い込んだ。野党8党の政策責任者会議では消費税減税も議論していくことで合意した」ことを伝えると「ぜひ、実現してほしい」と署名に応じました。

消費税廃止をと会報購読

熱海からファクス届く

「赤旗しんぶん」日刊紙(8月1日付)に会報「ノー消費税」8月号の紹介記事が掲載されました。早速それを見た男性から購読申込みのファクスが届きました。

『ノー消費税』を8月号から購読したい。同時に『消費税をなくす会』に入会したい!! 参院選では、日本共産党の消費税5%減税の宣伝に取り組みましたが、これを契機に消費税の完全廃止運動に熱海ですずと取り組んでいくことを決心しました。それで入会・定期購読をします」と書かれていました。